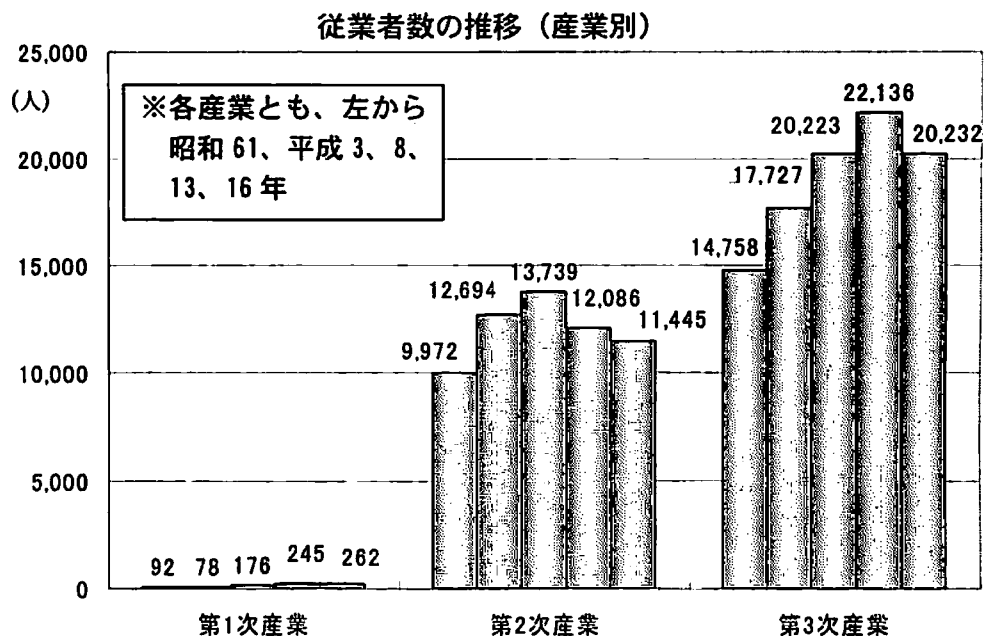
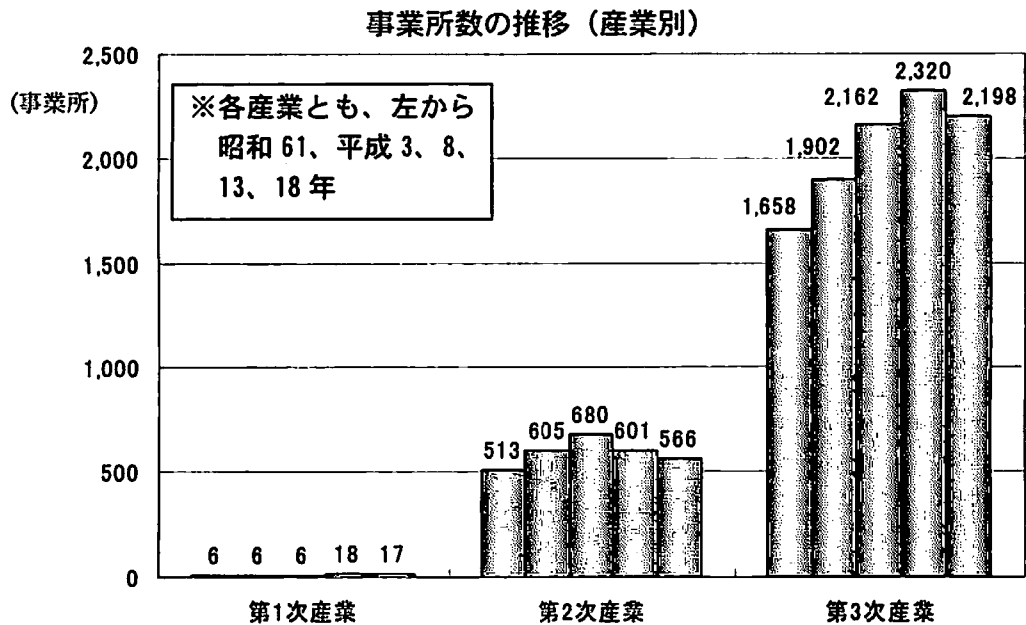


## 栗東市の産業・経済の動向

### (1) 事業所・従業者の推移

平成18年事業所・企業統計調査によると、本市の事業所数は2,781事業所、従業者数は31,939人で、事業所数の79.0%、従業者数の63.3%を第3次産業が占めている。

最近の調査では、事業所数、従業者数とも総数では増加してきたが、平成18年調査で初めて減少に転じた。また、第2次産業ではすでに平成8年調査をピークに減少がはじまっており、厳しい状況が現れている。

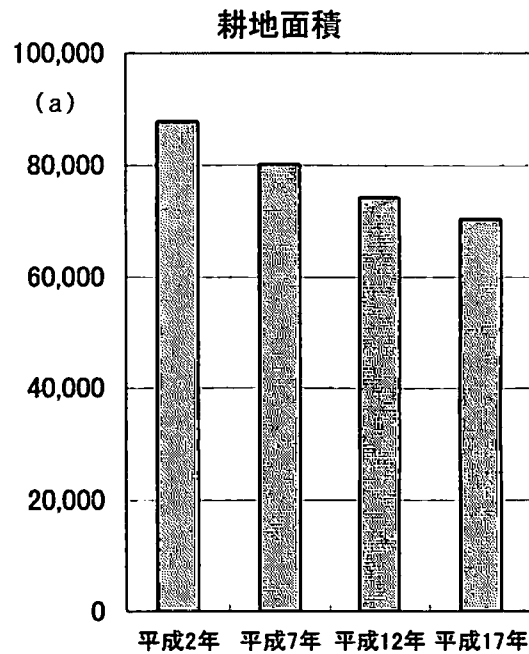
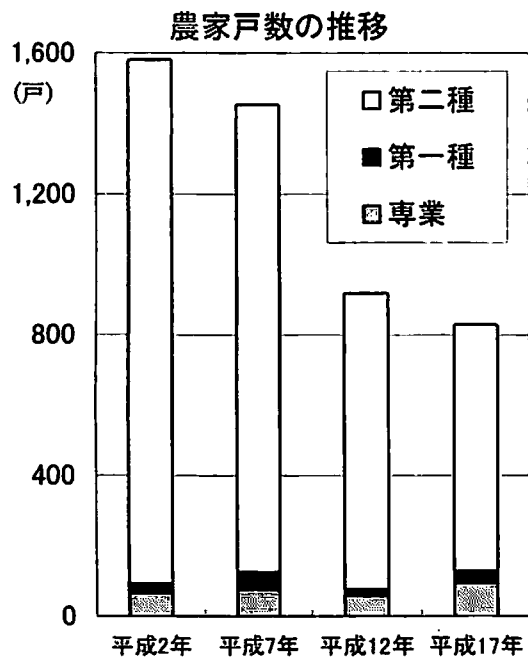


## (2) 農業

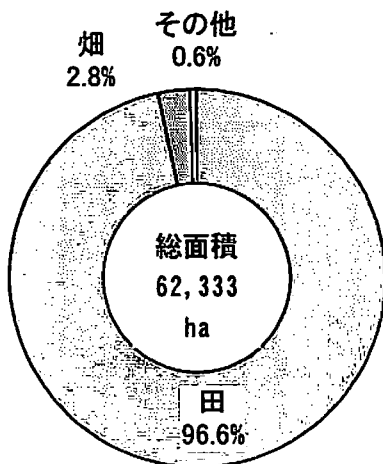
本市の平成 17 年農業産出額（生産農業所得統計）は 122 千万円で、米が約半数の 49.2%、野菜が 40.2%を占めている。

農業センサスにみる農家戸数は、平成 17 年に 829 戸で平成 2 年（1,580 戸）からは半減近い減少、耕地面積は平成 17 年に 70,470a で、平成 2 年（87,801 a）からは 19.7%の減少となっている。

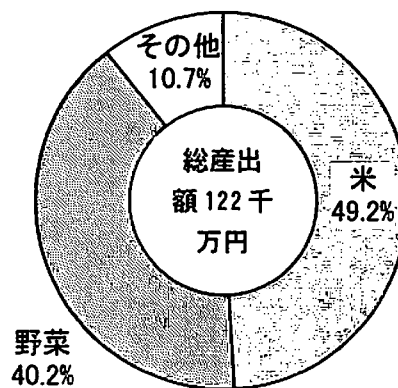
農家戸数のうち 699 戸（84.3%）を第二種兼業農家が占め、専業農家は 11.6%、第一種兼業農家は 4.1%にとどまっている。



**種類別経営耕地面積**



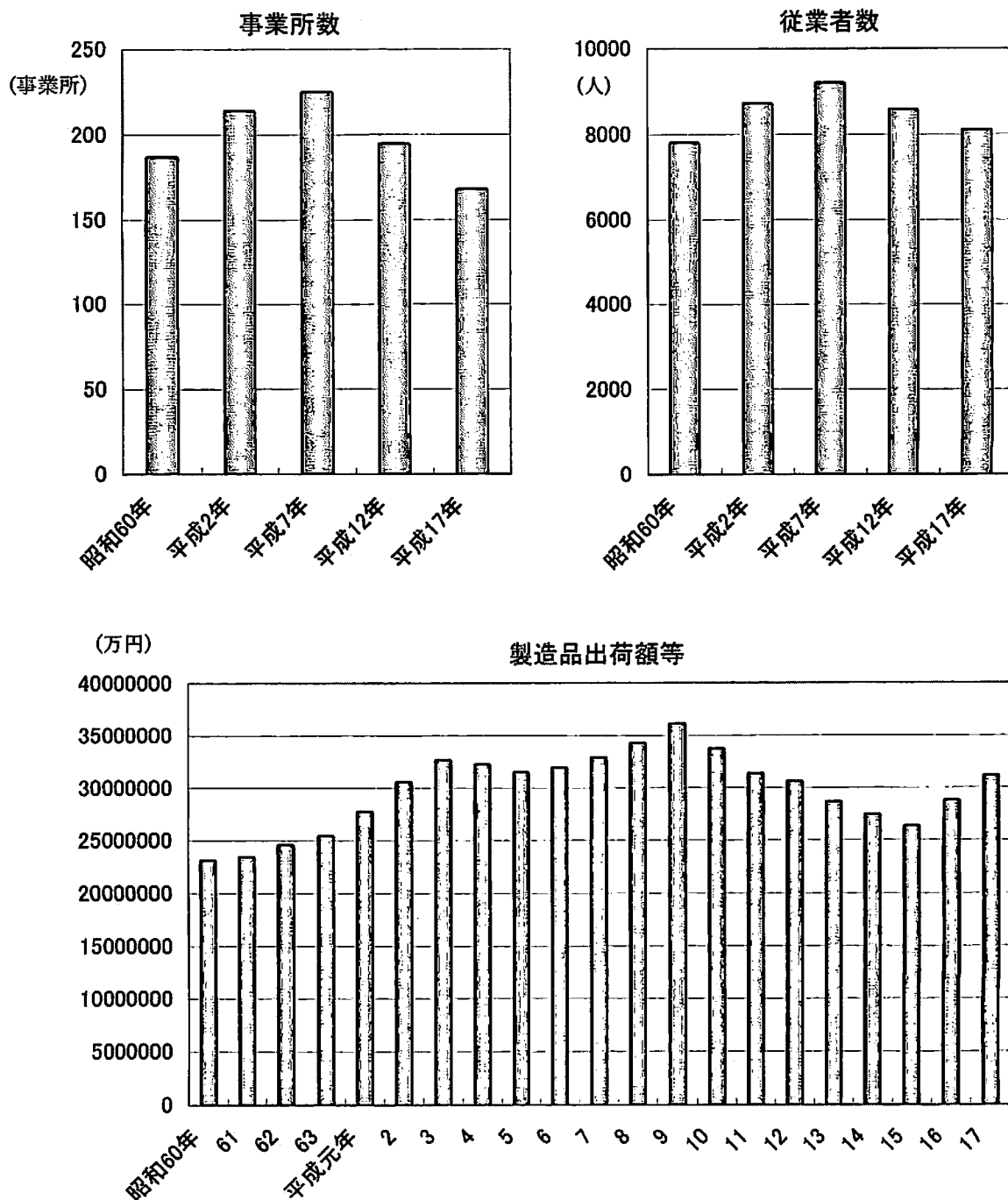
**耕種別農業産出額**



### (3) 工業

工業統計調査から本市の工業の状況を見ると、平成17年で事業所数が168事業所、従業員数が8,107人、製造品出荷額等が31,182,169万円となっている。

事業所数、従業員数とも、年によって多少の変動はあるものの、近年では平成7年前後をピークとして減少傾向を示すようになっている。製造品出荷額についても平成9年以降、減少傾向にあったが、近年、やや持ち直す傾向も見られる。



※数値はいずれも従業員4人以上の事業所

#### (4) 小売業

商業統計調査から本市の小売業の状況を見ると、平成16年で商店数が414店、従業者数が3,600人、年間商品販売額が67,120百万円となっている。

商店数は近年横ばいからやや減少傾向にある一方、従業者数は長期的に増加傾向を示し、店舗規模の大型化や小規模商店の減少が進んでいることをうかがわせる。

そうした中でも年間商品販売額も大きく伸びてはならず、商店規模の拡大も販売に対して大きな効果とはなっていない。

